

■JAFMEC賛助会委員会オンラインセミナープログラム概要一覧(2023年度版)

2023/6/1更新版

全体 案内	…官公庁職員、連合会構成員、賛助会員のどなたでも受講可能です。
一部 案内	…官公庁職員、連合会構成員のみ受講可能です。(賛助会員は受講できません。)

※【再】…再開催:前年度開催セミナーです。

プログラム No.	プログラム名	概要
123	報知機器(無線・ネットワーク技術)を活用した「見える化の基本」①～公共施設に必要な誰でも分かる見える化とは?～	「見える化の基礎」に続く第2弾。公共施設に必要な「見える化」について設計上留意すべき点とは?新築だけではなく改修で対応出来る「見える化」について、「光」「音」「文字」を活用した報知機器や無線技術等による課題解決と事例をご説明します。
124	CAV・VAVの概要【再】	CAV・VAVの選定方法、注意点の説明。
125	電気通信ケーブルの地中配管設備における防水対策・耐震対策事例について	近年激甚化する豪雨や地震による自然災害から電気通信設備を守るために、どのような対策をとれば良いのかを実際の事例等も交えながら説明いたします。
126	プレハブ工法によるプレコン地下タンク設備【再】	非常用発電機等の燃料油貯蔵するプレハブ工法によるプレコン地下タンク設備のご紹介です。
127	報知機器(無線・ネットワーク技術)を活用した「見える化の基本」②～公共施設に必要な情報伝達のツボ～	「見える化の基礎」に続く第2弾。公共施設に必要な「見える化」について設計上留意すべき点とは?高齢者や聴覚障がい者だけではなく、職員の初動支援としての「災害時の見える化」について、「光」「音」「文字」を活用した報知機器や無線技術等による課題解決と事例をご説明します。
128	オフィス向け空調の特長と商品紹介【再】	三菱ならではのムーブアイを活用した快適性向上のポイントとAIを活用した最新の機器をご紹介致します。
129	ポンプの基礎【再】	ポンプの原理、ポンプの種類/分類、代表的ポンプの構造、排水ポンプ、能曲線等について全般的なご説明をいたします。
130	トラブル事例(ポンプ・給水編)【再】	陸上、水中ポンプ、給水ポンプのトラブル事例を説明させて頂き、設計時に注意して頂きたいことを説明します。
131	報知機器(無線・ネットワーク技術)を活用した「見える化の基本」③～公共施設に必要な情報伝達のツボ～	「見える化の基礎」に続く第2弾。公共施設に必要な「見える化」について設計上留意すべき点とは?高齢者や聴覚障がい者だけではなく、職員の初動支援としての「災害時の見える化」について、「光」「音」「文字」を活用した報知機器や無線技術等による課題解決と事例をご説明します。
132	排水ポンプに関する知識【再】	排水方式、排水ポンプ種類と選定について解説いたします。
133	設備設計向け steam Engineering Laboratory Tour(蒸気機器のご紹介)～	スバイラックス・サーコの蒸気システム室へようこそ!こちらでは蒸気システムにおける蒸気機器を実際に設置、稼働してみて作動の検証を行っている蒸気システム室をご案内します。代表的なスチームトラップの作動原理もアニメーションで理解できます。
134	蓄電システムの用途について【再】	2023年2月22日再開催実施済の「蓄電システムのご紹介について」を更に掘り下げて、ピークシフトや補助金活用例、費用対効果等について説明させて頂きます。
135	プール水質に関する基礎知識【再】	プール水質基準について詳しく説明
136	白煙防止対策について	冷却塔の白煙対策の構造について説明。
137	プール設備設計お役立ち情報【再】	プール水質基準 ろ過システム 機械室に必要な設備をかんたんにご紹介
138	設備設計向け 蒸気の見える化と活用法～	CO2削減に対する意識はこれまで以上に高まっています。蒸気の省エネを推進するにあたりその指標となる計測は必要不可欠です。今回のセミナーでは蒸気の見える化と活用法についてご紹介します。
139	屋外用バックアップ電源について【再】	屋外用バックアップ電源の用途、仕様、選定について紹介・説明させていただきます。
140	災害時のトイレのあるべき姿【再】	不可避の災害。発災後、「食糧」や「水」の確保とともに発生するのが「し尿」処理の問題。「助かった命」を避難所生活で失わないためにも、避難所トイレに対する重要性はますます高まります。そこで、避難所トイレのあるべき姿について、最近の大型震災での事例やトイレ事情なども紹介しながら、トイレメーカーの立場から考えます。
141	ポンプから見た省エネ提案【再】	ポンプから見た省エネ手法・提案について解説いたします。
142	設備設計向け ストール(ドレン滞留)現象における熱交換器の破壊とその解消方法～	『加熱装置・加熱コイル内でウオーターハンマーが発生している!』『加熱装置・加熱コイル内が定期的に破損・ハンクする!』『ストレーナーは詰まっていないし、スチームトラップも正常である!』このような場合、『ストール(ドレン滞留)現象』が発生している可能性が高いと言えます。今回のセミナーでは『ストール(ドレン滞留)現象』のメカニズムとその解消方法について紹介いたします。